

令和2年度 第1回社会教育委員会議（書面会議）概要

日 程： 開催通知日 令和2年4月22日(水)
書面会議終了日 5月11日(月)

委 員： 角田委員、堀江委員、長坂委員、桑原委員、佐藤委員、東委員、松井委員、
吉川委員、生駒委員（新任）、大本委員（新任）

事務局： 社会教育課 橋本、匂坂、中村、内山

資 料：

- 1 令和2年度 逗子市社会教育委員名簿
- 2 令和元年度 第4回逗子市社会教育委員会議 概要
- 3 企画書（社会教育講座）案
- 4 令和2年度社会教育課主催講座 実施計画
- 5 社会教育推進プラン進行管理資料一式 （資料5A～資料5G）
- 6 社会教育課アンケート様式
- 7 社会教育委員連絡協議会地区研究会報告（厚木）
- 8 逗子市教育委員会定例会 議事録目次
- 9 逗子市郷土資料館の廃止について
- 10 令和2年度 神奈川県社会教育連絡協議会年間予定表
- 11 会議での議決または委員各位の意見が必要な事項
 - ・ 令和元年度（平成30年度対象）逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書
 - ・ 令和元年度 逗子の教育
 - ・ 社教連会報 No.86
 - ・ 逗子市社会教育推進プラン （新任委員のみ送付）
 - ・ 生涯学習活動推進プラン （同上）
 - ・ 共に学び、共に育つ、共育のまち推進プラン （同上）
 - ・ 社会教育委員活動のためのハンドブック2019（改訂版） （同上）

開 会：

- 社会教育委員の委嘱について 資料1参照
- 事務局の人事異動について

●議題（１）議長副議長の選出について

○事務局からの推薦で、議長を角田委員、副議長を堀江委員とする。

同意：１０名、異議：０名

●議題（２）令和元年度第４回社会教育委員会議録（概要）の承認について

○資料２の通り。

承認：１０名（事務局一任を含む）、否認：０名

●議題（３）社会教育委員会議の提案による社会教育講座企画について

○委員からの意見

- ・講座案（資料３）の「かんたん家具をつくる」はよいテーマだと思う。他にも複数の案を出し合い、議論のうえ決定したい。
- ・講座案の「かんたん家具をつくる」「古地図を読み解く」はどちらも今興味のある方が多いテーマだと思う。DIYは、個人個人で自分の作品を制作するほかにも、皆で１つの大きな作品を作る回があると、参加者が交流しやすいのか、と考えた。その作品を公園や公共施設、学童や幼稚園保育園などに寄付することができたらよいと思う。
- ・講座案はともに逗子の資源を活かした講座であり、社会教育講座の企画として適切と考える。
- ・本年度はこのような状況から提案は次年度に見送りたい。事務局による企画の講座が少しでも実施されることを願い、通常の会議が開催できたときに改めて検討できればと考える。

○事務局：継続議題とする。

●議題（４）社会教育推進プラン進行管理について

委員からの評価、総括は以下のとおり。

○人権教育等

- ・逗子市は人権講座の企画が面白いとのコメントがあった。他部署や団体との連携・共催も定期的に開催されてきていることは、大変評価できる。より専門的に充実した内容になっていると思われる。そのため「この講師のお話が聞けてよかった」との参加者の声も多かったのだと思う。
- ・「LGBT とこどもたち」は参加者アンケートにあったように、今後も定期的に開催しては如何か。質疑応答などの時間が足りなかったようにも読み取れる。教員研修の場としての利用も意義の高さを感じた。「身近な認知症」は、認知症に直面している参加者が多いようなので、今後ますますのニーズを感じる。
- ・現在人権教育で強く求められている、トランスジェンダー等少数者といえる人への理解を深める機会を提供できた。
- ・募集人数に対して人も集まっており、関心が高いと思った。社会教育においてもっとも根幹の重要な分野だと思うが、日本は自分も含めて学びが浅いと思う。成人教育と学校教育を連携させるなど、もっと進めていく工夫が必要だと思う。公募する講座はもともと関心の高い人しか参加しないため、人権教育への意識の低い人や、子どもに対してある程度義務的に教育できる方法が必要と考える。例えば、公立小中学校のPTA 成人教育委員・文化委員会との連携、各中学校を会場とした人権講演会を開催し、中学生は授業として参加かつ地域の人々が合流という形などが考えられると思う。（社会福祉協議会が行なっている福祉授業はよい試みだと思う）。

○各種講座（現代的課題）

- ・市民の「今」の興味関心の高いテーマが設定されており、市民のニーズに応えられていると感じる。
- ・「学校に適応した『よい子』が日本を終わらせる」は、平日午前中の講座にもかかわらず、幅広い年齢層の方が参加されたことと、アンケート自由記述の多さ・濃さより、反響の高さが感じられた。続編を期待されていると思う。
- ・現代的課題は必要性が高く、今後も引き続き開催してほしい。

○各種講座（地域課題）

- ・人気の高い歴史講座は数が増えており、変わらず応募が多い。実施継続を希望する。

- ・ 逗子の歴史・文化に関する講座は、安定した人気があることがうかがえる。郷土愛 = 地域のブランド力のアップとなるだろう。

- ・ 多くの方が応募すると思われる、逗子の魅力を活かした講座が開催できた。

○各種講座(地域活動)

- ・ 親子料理教室の応募率低下が気になった（親子共に忙しいのか）。「魚をさばく」のテーマがニーズがないのではないか。違った視点（子どもが食べやすい簡単な魚料理など）の切り口がよいのかもと感じた。新しい美術館入門講座は好評の様子。他施設や他テーマなど継続していけたらよいと思う。

- ・ 「近代美術館入門講座」は募集人数に対し参加人数は高くないものの、幅広い年齢層の方が参加されたことと、満足度は高かったように感じる。今後も定期的開催しては如何か。

- ・ 近代美術館入門講座は今後も続けるとよいと思う。

○社会教育出張講座

- ・ 運動系の講座が人気、継続したい。コロナ渦でさらに身体を動かすことを意識するようになったので、需要が高まると思う。今後の講座案→自分を労わる・コントロール術講座(ヨガやマインドフルネス・瞑想など)。

- ・ プログラムや講師の依頼など、大変だと思うが市民の需要は高いと思われる。

○家庭教育講座

- ・ 評価の高い講座が多い中で、応募率がほぼ 50%なのは勿体ないと感じる。子育て世代、現役世代が参加しやすい工夫が必要である。例えば、土日開催→父親参加しやすい。告知や申込のタイミングをなるべく早く→プライベートや仕事の予定が立やすい。

- ・ 「子ども・子育て連続講座」は応募人数は高くないものの、幅広い年齢層の方が参加されたことと、アンケート自由記述の多さ・濃さより、反響の高さが感じられた。

- ・ 子育て講座は応募が少ないときもあるが、受講した方には非常にためになるので続けてほしい。

- ・募集人数に対する応募人数の低さについては、検討されたい。逗子市の家庭教育講座は本当に内容が充実しており、自分も助けられて子育てできた一人でも感謝している。内容がよいだけに、受講者が少ないというのが大変もったいないと思う。今年度の内容は「親向け」ではなく、「保育者向け」と感じられる内容の講座名だったように感じる。教育関係者、保育関係者向けの内容であれば平日昼間の開催では動員できず、平日昼間であれば親が自分の子育てに直結して活用できる内容にした方が参加が見込まれると思う（星山先生の講座は一見教育関係者向けの内容だったが、実態は我が子のために受講されていた方がほとんどだった印象がある）。あくまで個人的な感覚だが、時代の変化に伴い共働き家庭の増加で、母親向けでも平日昼間だと集まりにくくなっていくのではと感じている。親向けの講座も今後は土日開催も検討していく必要があると感じる。また「連続講座」という名前に参加のハードルの高さがあるように思える。一回ごとの参加ができる、もしくは連続で申し込まれた方優先、空きがある場合は個別の申し込み可と明記してあると申し込みやすいと感じた。子育て講座の場合は託児を利用して息抜きもかねて学びたいという方も多いと思うので、平日昼間開催であれば、未就園児の親御さんが興味のある内容かつ託児付きというのが需要は大きいのではないかと思う。

○文化財保存活用

- ・継続希望する。
- ・逗子の貴重な財産なので予算を確保してほしい。

○図書館活動

- ・子どものおはなし会や読み聞かせ講座は特に力を入れて続けてほしいと思う。
- ・4月より、窓口での貸出・返却も中止になったのは残念である（横須賀市は4月以降もビニールシートや消毒を用意した簡易窓口を設置し、貸出返却のみ継続中）。今後も同様の混乱があることも考え、対応など検討が必要と感じる。自粛中は、図書館本の利用ニーズが高まっていると思う。

○総括・その他

- ・全体的に受講者の満足度がさらに上昇していると感じる。特に、講師の人選への評価が高くなっているのが、今年度見受けられた。講座企画について、事務局の方々の努力の表れだと思う。そのような中で残念なのが、マイク音量や隣部屋からの雑音、冷暖房の温度管理など、会場の環境について不備を訴える声が、様々な講座で挙がっていたこと。ハード

面での改善はなかなか難しいが、できることから対応していけたらと思う。また「時間が足りない」という意見も毎年見受けられる。パワーポイントの画面や講義内容を資料として配布する機会を増やせば、さらに参加者の理解度や満足度が上がり、再受講する意欲アップにつながると思う。

- ・今後受けてみたい講座の項目で「孤立死」「いじめ」「児童虐待」が多かったのが印象的。「地域とのネットワーク構築」や「地域の子育てネットワーク」等の項目と関連づけた講座などが出来たらと思った。「SNSによる情報発信」情報発信・拡散の方法と「子どものインターネット・携帯」情報過多から子どもを守り、正しいネットリテラシーを身につける現代課題の講座も期待されているのではないか。また「食育」と料理教室や地元食材を結び付けた講座など。市内商店街の食料品店やレストラン・食堂の方が先生になったりしても面白いのではないか。
- ・新型ウィルス感染防止で中止になった講座があったが、致し方ないところである。とりわけ2月29日の井本先生講演会はテレビ放映された直後でタイミングも合い、市民の関心も高かっただけに中止となったのが惜しかった。再開できる目処は立たないが、今後もうこうした目先の効いた企画を立てることができると素晴らしい。
- ・この状況下いつ実施できるかは問題だが、計画の立案は整っているという意味で評価した。
- ・シニア参加者の多い講座で、空調や騒音、講座の内容以外の会場管理の部分のコメントが多かったように思った。講座の全体管理として、チェック項目を作ったりするなど行うとよいのではないか（マーカーなどの準備物、空調の定期的なチェック、参加者の誘導の方法など）。講座の動員に関しては、子育て世代についてはメルマガに動員状況（残席数や締切日など）を載せる、逗子市のfacebookを活用するなど他にも工夫できる方法があるのではないかと思った。

●議題（5）社会教育課主催講座アンケートの様式の変更について

○資料6の通り変更する。

承認：10名、否認：0名

●報告事項（１）神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（２月 19 日・厚木）
資料 7 参照。

●報告事項（２）令和元年度 社会教育主催講座の開催状況について
資料 5 - C 参照。

●報告事項（３）教育委員会定例会について
資料 8 参照。

●報告事項（４）逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書について
令和元年度冊子を参照。

●報告事項（５）逗子の教育について
令和元年度冊子を参照。

●報告事項（６）逗子市郷土資料館の廃止について
資料 9 参照。

●その他（１）令和 2 年度社会教育委員会議、神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会等の年間予定について

○県社会教育委員連絡協議会関連事業 委員からの出席希望のとりまとめ。